

## IV 研修

### 群馬県高等学校教育研究会音楽部会 令和4年度定期総会「情報交換会」

日 時 令和4年 5月 6日 (金) 15:30～16:30

会 場 群馬県立館林女子高等学校 大会議室



#### 1 概要

今年度より順次実施される平成30年3月告示高等学校学習指導要領による授業の課題や悩みを共有し、指導と評価の一体化を一層推進できるよう、下記の2つの観点から班別情報交換及び発表を行った。なお、交わされた意見や内容については、今後の研修の中で必要に応じて取り上げ、解決に向けた検討を行うものとする。

(1) 今年度の「音楽Ⅰ」の年間指導計画の作成にあたって

ア 留意したことやこれまでと変更したこと

イ 悩んでいることや今後も検討していきたいこと

(2) 「各分野」の指導と評価の一体化に向けて

ア 観点別学習状況の評価の3観点の指導と評価の計画

イ 悩みや不安



#### 2 指導・助言に代えて

島田 聡 先生 (群馬県教育委員会事務局高校教育課 指導主事)

「新しい学び元年」としての令和4年度を迎え、これまで以上に「学びの主体は生徒である」ということが大切になる。試みとして、今年度実践する題材を1つ選び、生徒と学習指導要領の内容や解説などを共有して、どのような学習活動が必要か、どれくらいの時間が必要かなどについて、生徒とともに考え学習を進めてみてはどうか。鑑賞領域の学習では、対象となる音楽についての個別の「知識」が、生徒の気付きや思考・判断によって更新されていくため、義務教育段階での学びの蓄積を基に、生徒が学びの見通しを持ちやすい表現領域、とりわけ歌唱や器楽の分野で試してみるとよいと考える。学びのプロである生徒に、学び方や学ぶペースを委ねることで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っていただきたい。

#### 3 参加者 (敬称略 順不同)

和泉 昇 (館林女子)	荻野 葉子 (西邑楽)	島田 聡 (高校教育課)	牧野 勇 (前橋東)
安斉 太 (前橋商業)	織田 大地 (高崎)	大谷 邦子 (吉井)	荒木奈都子 (吉井)
山元 唯佳 (高崎商業)	青柳 亮 (桐生)	鈴木香奈子 (桐生清桜)	川上 寛子 (伊勢崎)
近野 裕子 (伊勢崎清明)	黒岩 伸枝 (高崎)	橋詰 詩織 (太田女子)	橋本 尚子 (新田暁)
塚田 孔右 (太田工業)	木部 誠 (太田フレ)	松平 康子 (尾瀬)	戸松 久実 (沼田女子)
前島 律子 (館林)	坂本 将 (館林女子)	斎藤真里奈 (渋川女子)	前田 知樹 (渋川青翠)
井上 春美 (藤岡中央)	富岡 恵美 (安中総合)	角田 幸枝 (安中総合)	湯浅瑛美子 (長野原)
大和美由希 (西邑楽)	多田あやか (市立太田)	田中ちひろ (高高特)	小野寺友貴 (太田高特)
野口 瑞穂 (太田高特)	関口 行雄 (館林高特)	須田 玲子 (渡良瀬特支)	柳田絵美子 (渡良瀬特支)
吉田 宏昭 (健大高崎)	日川 千恵 (共愛学園)		

文責：坂本 将 (館林女子)

## Jamboard による班別情報交換資料

第1班：大和（西邑楽）、前島（館林）、松平（尾瀬）、大谷（吉井）、織田（高崎）  
今年度の「音楽」の年間指導計画の作成にあたって・・・

留意したことやこれまでと変更したこと	悩んでいることや今後も検討していきたいこと
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; border: 1px solid black; text-align: center;">                     中高で同じ 題材でアプ ローチ、成 果を共有                 </div> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; border: 1px solid black; text-align: center;">                     しゃく なげの 活用                 </div> </div>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; border: 1px solid black; text-align: center; width: 30%;">                     男子にふさ わしい歌唱 教材とは                 </div> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; border: 1px solid black; text-align: center; width: 30%;">                     歌唱に おける ICT活用                 </div> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; border: 1px solid black; text-align: center; width: 30%;">                     歌うことが 禁止されて いる場合の 対応                 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; border: 1px solid black; text-align: center; width: 45%;">                     ワークシートで の評価が言語 力？国語力で差 が出がち。                 </div> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; border: 1px solid black; text-align: center; width: 45%;">                     3観点の評価の 比率。○対○対 ○で出すのか？                 </div> </div>

第1班：大和（西邑楽）、前島（館林）、松平（尾瀬）、大谷（吉井）、織田（高崎）  
「歌唱」の指導と評価の一体化に向けて・・・

評価の観点	指導と評価の関連	悩みや不安
知識・技能	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; border: 1px solid black; text-align: center;">                     楽譜から読 み取らせる                 </div> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; border: 1px solid black; text-align: center;">                     国語 力                 </div> </div>	<div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; border: 1px solid black; text-align: center;">                     3観点到わけてみ たが、実際あま り上手くいかな いこともあり、 検討中                 </div>
思考・判断・ 表現		
主体的に 学習に取り組 む態度	<div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; border: 1px solid black; text-align: center;">                     あまり比重を大 きくしないよう に気をつけてい る                 </div>	

第2班：鈴木（桐生清桜）、安齊（前商）、角田（安総）、青柳（桐生）、田中（高高特）  
今年度の「音楽I」の年間指導計画の作成にあたって・・・

留意したことやこれまでと変更したこと			悩んでいることや今後も検討していきたいこと		
3年生担当のためまだ新課程ではなく去年と特に変更していません。。。	活動そのものは昨年度と殆ど変えていません。	大きくは変更していませんが、題材内の時間配分を考えたいです	歌唱の活動って実際どのくらいやっていますか？	創作の活動について どのように評価を入れていくのか。クロームブックを使って提出？	評価そのもののタイミングがよくわからない
指導と評価の一体化がわかりやすくなるように	別の方が計画しましたが...昨年から大きな変更はなしです。		どの活動が何に当たるのか判断しにくい	ワークシートを作る前に評価の観点につながる設問をしっかりと考えたい	「思考・判断」のABC評価が難しく感じます
			どういう場面で評価するのかというのを全部は書けない	各種行事に向けた幸由の練習の中で、学ばせるべきことをどう盛り込んでいくか	授業の生徒人数に応じて、歌唱と器楽等分けて活動を設定していく

第2班：鈴木（桐生清桜）、安齊（前商）、角田（安総）、青柳（桐生）、田中（高高特）  
「器楽」の指導と評価の一体化に向けて・・・

評価の観点	指導と評価の関連	悩みや不安
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識→期末考査・技能→実技試験</li> <li>実技発表会（複数人で）</li> <li>授業内で得た知識を確認するペーパーテスト</li> <li>早い段階での個々の技能の実態把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間の確保。生徒本人とのこちらの評価との差があった場合</li> <li>なかなか楽器演奏がうまくできない子への支援</li> <li>練習をなかなかさせられないです（時間的にも口頭的にも）</li> <li>各評価をどこまで関連付けて、どれくらい分離すればよいか。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>実技テスト（評価のポイントを示した上で指導した上で）</li> <li>WS記述内容</li> <li>WSの記述と発言等</li> <li>リコーダー奏の音色、響きの感受→奏法・演奏方法を全部が気づく手立て→この自分のどんなことを表現するためにどんな演奏の工夫をしようとしたか（思考判断）できたら（技能）</li> <li>感じたものをどのように表現したいか→WS？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>元々WSに作文するのが上手い人、元々ギターの手遣いが高い人などの評価と、元の能力は低いがよく練習した人などの評価、同列にするのは難しい</li> <li>自分の4小節の演奏だけでも、評価し合ったりできるとよい？</li> <li>学びえるグループだと表現も前向きになるが、そうでない・・・</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の態度など</li> <li>表現→どのように演奏したいか。をWSや期末試験の記述問題で評価。実際出来ているかは技能で評価し、「どうしたいか考えられているか？」という視点で評価したいので実際の演奏ではあまりみていないかも。。。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ構成をどう組み合わせるか。（ギターの場合はペア学習で行った）</li> <li>グループによって、学びが主体的になるか否か。</li> <li>演奏で音色などで気がついていない子・・・</li> <li>授業での観察になることも多いが、いつどのタイミングでどのように見て評価する？</li> </ul>

第3班：木部（太田フレ）、山木（西邑楽）、多田（市太田）  
 今年度の「音楽I」の年間指導計画の作成にあたって・・・

留意したことやこれまでと変更したこと	悩んでいることや今後も検討していきたいこと
<div data-bbox="188 472 312 600" style="background-color: yellow; padding: 5px;"> <b>変わった部分はない</b> </div> <div data-bbox="344 472 533 651" style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 10px;">           実技教科として、主体的に学習に取り組む態度について他教科に意見共有         </div> <div data-bbox="552 472 740 651" style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 10px;">           創作に関して、より明確に活動の内容を振り分けることができたようになった         </div> <div data-bbox="188 685 323 813" style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 20px;">           3観点になってわかりやすくなった         </div>	

第3班：木部（太田フレ）、山木（西邑楽）、多田（市太田）  
 「創作」の指導と評価の一体化に向けて・・・

評価の観点	指導と評価の関連	悩みや不安
知識・技能		
思考・判断・表現	<div data-bbox="592 1603 1066 1709" style="background-color: white; padding: 10px; border: 1px solid black;">           ※付箋に入力する時間がないほど、熱心な意見交換が行われました。         </div>	
主体的に学習に取り組む態度		

第4班：塚田（太工）、戸松（沼女）、日川（共愛）、井上（藤中）、関口（館高特）  
今年度の「音楽」の年間指導計画の作成にあたって・・・

留意したことやこれまでと変更したこと			悩んでいることや今後も検討していきたいこと
授業改善なのか、評価に関わることなのかを年計に記載	ワークシート、ループリックで示して、A・B・Cで評価し返却	実技の動画をポートフォリオ化して、過程を評価	態度：ワークシートの内容、全て見るのは大変
知識技能3 5、思考3 5、態度3 0	授業内で知識の評価を、グループフォームを使って行う		

第4班：塚田（太工）、戸松（沼女）、日川（共愛）、井上（藤中）、関口（館高特）  
「鑑賞」の指導と評価の一体化に向けて・・・

評価の観点	指導と評価の関連	悩みや不安
知識・技能	初めに動画を撮影→お手本の動画を生徒から選び共有する→最終的に動画を撮る 自分でも評価+教員からの評価 3段階で評価、良いコメントを必ず言う	
思考・判断・表現	正解へ誘導したくないときは、後出してループリック	
主体的に学習に取り組む態度		

第5班：川上（伊勢崎）、牧野（前東）、野口（太田高特）、近野（伊清明）  
 今年度の「音楽I」の年間指導計画の作成にあたって・・・

留意したことやこれまでと変更したこと	悩んでいることや今後も検討していきたいこと
<p>歌唱活動 歌っている学校は、距離をとって教室に広がって歌っている</p> <p>歌唱といっても、曲の表情や踏み込んだ内容には達していない</p> <p>三観点となり歌っている表情を良く見とって、評価している。</p>	<p>コロナで歌えず、歌唱の評価ができない。</p> <p>歌唱は、三観点がかなりリンクしているため、完全に観点別にして評価するのが難しい。</p> <p>主体的な態度を評価しがちで、技能の指導までいかない</p> <p>録音機能を使用して(フラットフォーエデュケーション)校歌の下パートを提出させたが、音声がかくまくとれていなかったり、声色も判断しづらく、技能の評価も表現の評価も難しくなった。</p> <p>表現を演奏で評価することが難しいので(コロナで)、ワークシート等を活用するしかないのか</p>

第5班：川上（伊勢崎）、牧野（前東）、野口（太田高特）、近野（伊清明）  
 「歌唱」の指導と評価の一体化に向けて・・・

評価の観点	指導と評価の関連	悩みや不安
知識・技能	<p>曲の歌詞や内容を理解し、自分なりの表現を考え、ワークシートにまとめたり意思表明することができる。</p> <p>歌唱やキーボードで音を取り、正確な音程で歌うことができる。</p> <p>発声方法の指導を経て、ふさわしい発声で歌うことができる。</p>	
思考・判断・表現		<p>三観点ですみわけをすることで、評価できない生徒の良いところがあった場合、どうするか。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>興味関心をもたせる</p> <p>グループワークで、お互いに意見を出し合い、表現を深める活動から、主体性を評価する。</p>	<p>表現活動で、表出が苦手な生徒は主体性は評価しづらい。</p>

第6班：黒岩（太田）、富岡（安総）、須田（渡良瀬特）、吉田（健大高崎）  
今年度の「音楽I」の年間指導計画の作成にあたって・・・

留意したことやこれまでと変更したこと	悩んでいることや今後も検討していきたいこと
<p>コロナ対応で、歌唱活動を控えています。キーボードを人数分購入していただいたので、そちらを利用して授業を行っています。歌唱でも器楽でも適用するような書き方を工夫しました。例：合唱・合奏をしよう</p>	<p>コロナでいつ歌唱ができなくなるか不安なので1学期に歌唱をできるだけ取り組もうか検討中</p> <p>3観点の割合について、均等にするのが難しい、他教科でも話題に挙がっている</p> <p>コロナの影響もあり、実技評価が難しい。</p> <p>授業内での評価の割合を増やしたいが、時間が足りない。皆さんはどのように工夫されているのでしょうか。</p> <p>学習発表会に向けて、ステージ発表の形をとる必要があるので、歌唱活動ができるようになったときに、どちらで発表するか、いつ歌唱に切り替えるかなどの決定が難しいと感じています。今のところはキーボードでの合奏で発表予定です。</p>

第6班：黒岩（太田）、富岡（安総）、須田（渡良瀬特）、吉田（健大高崎）  
「器楽」の指導と評価の一体化に向けて・・・

評価の観点	指導と評価の関連	悩みや不安
知識・技能	<p>三味線を正しい構え方で構えている、勘所を意識して演奏している</p> <p>ギター奏法、音階、コード</p> <p>キーボードでの合奏について、生徒の楽器に合わせて目標を立てています。色音階やその他の支援、情報を生かして演奏できるかを評価することが多いです。</p>	<p>文章での評価となります。3観点を入れて評価するようにしていますが難しいです。</p>
思考・判断・表現	<p>サワリの音色の波形を描く</p> <p>曲想に応じた演奏の仕方、アポヤンド、アルアイレ</p> <p>キーボードで担当する楽器を併えればVn.ならVn.らしく演奏するにはどうすればよいかを表現できるようにヒントを与え、練習を始めた段階にしている。鑑賞の中で気づきを表現に視立てしているかも評価している。</p>	<p>文章での評価となります。3観点を入れて評価するようにしていますが難しいです。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>授業に向かう姿勢</p> <p>～のりでできた～すすんできた、やり違えることができたなどのキーワードを用いて文章で評価しています。</p>	<p>主体的な態度の見取り方、書ければいいの？書ければいいの？一生懸命やっているが演奏ミスルが、・・・</p>

第7班：橋詰（太女）、湯浅（長野原）、山元（高商）、柳田（渡良瀬特）  
 今年度の「音楽I」の年間指導計画の作成にあたって・・・

留意したことやこれまでと変更したこと	悩んでいることや今後も検討していきたいこと
<p data-bbox="172 450 459 723">歌唱・器楽・創作・鑑賞において、各自が表現する場面と、筆記試験などで知識を問う部分をなるべく各学期においてバランスよく入るようにした。</p> <p data-bbox="475 450 762 723">商業高校のため、2年後に新課程での実施です。今年は大きな流れは変えていませんが、定期テストをなくし、授業の中だけでの評価に挑戦しているところです。なかなか点数化するのが難しく、苦戦しています。</p> <p data-bbox="172 745 406 976">[工夫]知・思・態が年間を通して満遍なく設置されるようにした</p>	<p data-bbox="804 450 995 633">何をもち、思考判断しているのととるかが難しい。一人をずっと見ているのであればできるかもしれないけれど、40人をすべて丁寧に見られるが不安。</p> <p data-bbox="1011 645 1171 806">主体的に取り組む態度を見るために、日々の振り返りスプレッドシートを始めてみたが、みんなよくできたになってしまいました。</p> <p data-bbox="804 817 995 976">評価する材料を生徒に示し、具体的にやろうとすればするほど、差がつかなくなっている気がします。</p> <p data-bbox="1187 450 1394 633">「態度」の評価においては、授業をきちんと受けているのかどうかという二元的な評価に留まってしまい、ポジティブな面での評価がしづらい（減点的な目線になってしまう）</p> <p data-bbox="1187 768 1394 976">[不安]長野原も構念も、能力の差が大きく、ひとりひとりへの評価の基準を変えなければならぬこと。</p>

第7班：橋詰（太女）、湯浅（長野原）、山元（高商）、柳田（渡良瀬特）  
 「創作」の指導と評価の一体化に向けて・・・

評価の観点	指導と評価の関連		悩みや不安			
知識・技能	5音音階の特性や進行形における特性を理解しているか、筆記試験で問う。	講義内で、必要な知識・技能を絞り、それらがきちんと用いられているかを評価。	リズム創作では小節内が正しい音階体系でまべられている、という評価では、創作の評価にはならない気もしています。			
思考・判断・表現	5音音階を使った創作。進行の仕方や音の並べ方の書き方を事前に提出させ、その要因と楽成試験の内容の一致によってとる。	自分が作ったリズムに対し、なぜそうしたのかをWSまたは筆頭上に記入して、評価する予定です。	授業全体の目標に対して、自分自身で創意工夫ができてきているかを評価	なぜそのリズムにしたか、という部分はその文章と実際の音を見て、私自身が理解できるようにならAと取っていますが、基準が曖昧だと感じています	言葉による説明が上手な生徒の評価が高くなってしまおう？（それでもよい？）	自閉的な傾向を持つ生徒の、「表現」へ向かう態度の評価が難しい。
主体的に学習に取り組む態度	Flat for educationというサービスを使ってリズム創作をする予定です。変更の記録が残るので、その記録を元に、主体を評価していく予定です。	見直しと振り返りを書かせ、計画性をもって楽曲創作に取り組んでいるかをみる	主体性をみとるのはこれでのよいのか？	悩ましいです。それぞれの能力なのか、主体的なのかを判断しづらい。たとえば、作曲が他の生徒と比べ高いものを、取り組みが楽だのではないからなのか、本人の音楽に対する感受性や理解力が高いからなのかを判断したい。		

第8班：橋本（新田暁）、小野澤（太田高特）、斎藤（澁女）、前田（渋川青翠）  
今年度の「音楽」の年間指導計画の作成にあたって・・・

留意したことやこれまでと変更したこと	悩んでいることや今後も検討していきたいこと
<div data-bbox="167 450 421 689" style="background-color: yellow; padding: 5px;"> <p>中学校で学習した教材に関連づけながら選曲する。なるべく鑑賞時間の短いものを選曲する。幅広いジャンル活動内容を取り入れている。</p> </div> <div data-bbox="432 450 679 689" style="background-color: pink; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>標題音楽やオペラ、映画や箏曲など様々な形の鑑賞を行う</p> </div>	<div data-bbox="796 450 1031 689" style="background-color: yellow; padding: 5px;"> <p>鑑賞分野についての題材設定の時間が少ないと感じる。</p> </div>

第8班：橋本（新田暁）、小野澤（太田高特）、斎藤（澁女）、前田（渋川青翠）  
「鑑賞」の指導と評価の一体化に向けて・・・

評価の観点	指導と評価の関連		悩みや不安	
知識・技能	生徒にスライドを作成させる	ワークシートの書き取りや、定期試験で見取る		
思考・判断・表現	鑑賞した感想なり、評価するポイントを提示し、言語化させる。	特別支援は鑑賞分野は取り入れられない状況もあり。	ワークシートの感想文	評価を見取りづらい、文章の書き方評価に寄ってしまう。
主体的に学習に取り組む態度	イメージがもてていないのが現状。レイアウトなどで評価する？	全員に興味をひく題材設定が難しい。		生徒の能力高いと鑑賞に対して興味高い。そのため評価しづらい。なるべく多くの要素について書かせる。